

■田宮虎彦 小説家。人気もなく、40半ばに癌で失った妻との書簡集「愛のかたみ」が絶版に追い込まれ、80近くに自殺。

たみやとらひこ

大逆事件判決1911＝ 東京生れ。

明治天皇没・1912＝ 1歳：

大暴落・・・1920＝ 9歳：

原敬首相暗殺1921＝10歳：

神戸一中，

世界恐慌・・・1929＝18歳：

三高を経て，

満州事変・・・1931＝20歳：

東大国文科卒業。_「日暦」の同人で，

芥川直木賞始1935＝24歳：_「無花果」などを発表したが，

二二六事件・1936＝25歳：_「人民文庫」創刊とともに参加するも，度重なる発禁処分で廃刊となる。

日中戦争始・1937＝26歳：

健保+総動員 1938＝27歳：

日米開戦・・・1941＝30歳：「早春の女たち」「萌える草木」，

敗戦・・・1945＝34歳：

新憲法施行・1947＝36歳：「或る青春」。***「霧の中」や，**

三大事件・・・1949＝38歳：_「落城」に代表される歴史小説によって本格的に認められ，さらに半自伝的作品「足摺岬」，

朝鮮戦争始・1950＝39歳：_「絵本」「菊坂」などを収めた，

独立回復・・・1951＝40歳：***短編集「絵本」によって毎日出版文化賞を受賞。**

TV放送始・・・1953＝42歳：「鷺」。小説集「異端の子」，

自衛隊発足・1954＝43歳：「愛情について」「卯の花くたし」「小説千恵子の生き方」「眉月温泉」_「ある女の生涯」，

55年体制始・1955＝44歳：「ぎんの一生」「道子の結婚」，

国連加盟・・・1956＝45歳：「銀心中」「飛び立ち去りし」「野を駆ける少女」「文学問答」。_翌年にかけて「田宮虎彦作品集」全6巻が刊行され

るなか，胃痛で死んだ妻千代との，

なべ底不況・1957＝46歳：「愛するということ」。***書簡集「愛のかたみ」は広く読まれたが，平野謙から批判され，マスコミの中傷もあ**

って，絶版にする。「小説異母兄弟」，

インストラマン・1958＝47歳：「祈るひと」「風と愛のささやき」，

美智子妃・・・1959＝48歳：「生きるいのち」「黄山瀬」「若き心のさすらい」，

安保闘争・・・1960＝49歳：「赤い椿の花」，

タイタイ病始・1961＝50歳：「小さな赤い花」「笛・はだしの女」，

全国総合計画1962＝51歳：「木の実のとき」「私のダイヤモンド」，

東京リビック 1964＝53歳：「姫百合」「別れて生きる時も」_「花」，

大学紛争始・1965＝54歳：

美濃部都知事1967＝56歳：「若い日の思索」，

霞ヶ関ビル・ 1968＝57歳：「二本の枝」「夜ふけの歌」，

大阪万博・・・1970＝59歳：「お別れよ」，

日中国交回復1972＝61歳：_「沖縄の手記から」は後期の代表作とされる。

石油ショック1973＝62歳：

角栄金脈辞任1974＝63歳：

アランプール事件1975＝64歳：「ブラジルの日本人」。山本明写真で「私の日本散策」，

個人の心情の真実を核とした情感ある緊張した文体と評価されている。

中曽根内閣・1982＝71歳：

ディズニーランド・ 1983＝72歳：

ジャンボ機墜落1985＝74歳：「さまざまな愛のかたち」を最後に，

リクルート事件・ 1988＝77歳：***脳梗塞で倒れて退院後，自殺した。**

翌年，「花」が「花物語」として映画化された。